

令和5年度2学期学校評価結果の分析（崎山小学校）

1 結果の集計

評価項目は、「『さっきゅま魂～自主・友愛・錬磨・勤労～』の目指す子どもの姿」に、「教育環境」「家庭生活」「職員」を加えた19項目で構成した。

各項目について、4段階で評価した結果を、学校職員、保護者、地域（学校運営協議会委員）、全児童それぞれの平均値で示している。

2 結果の分析

前回と比較して、評価が同じ、または、上がったものは、全体の57%であった。また、4つの心の評価平均値は、次のとおりとなった。

自主の心	3.7 (0.2↗)	友愛の心	3.8 (0.1↗)
錬磨の心	3.7 (→)	勤労の心	3.7 (0.1↘)

全てにおいて3.7以上となっており、評価者ごとの平均値もそれぞれ3.6以上であった。

項目や評価者ごとに見ていくと、次に示すような成果と課題が見えてきた。

(1) 『さっきゅま魂』目指す子どもの姿』について

〈成果〉

項目①④⑦学習面については、改善傾向にある。リーダーを中心に自分達で学習をつくっていく意識と自信が高まるとともに、考えや根拠を分かりやすく説明できるようにもなっている。

項目③走ろう運動については、児童からの提案により、雨天時も体育館で実施するようになった。自主の心に加え、錬磨の心の成長も感じられる走り方や取り組みぶりを見せている。

〈課題〉

自主の項目②挨拶・返事については、校舎内においては1学期より改善傾向にあるが、声の大きさやタイミングの遅さに課題がある。今後は、相手にしっかり聞こえる声や相手に気付く力、気付いてすぐの挨拶を意識した指導をしていく。

友愛の項目⑩仕事や清掃について、基本的に責任をもって一生懸命行うのだが、行事の準備や練習や予定変更が入ると、常時活動を忘れてしまう場面もあった。児童同士でフォローし合っているが、職員による声掛けや指導も継続していく。

(2)「教育環境」について

〈成果〉

項目⑭情報発信については、地域・子どもの数値が上がっており、高い評価だった。児童の成長が保護者・地域にも伝わっていることが大変嬉しい。

〈課題〉

項目⑪環境整備については、掃除や花壇の手入れは1学期を上回る取り組み具合である。ロッカーや引き出しの整理整頓や脱いだ上着の片付け方に関する指導に更に力を入れていきたい。

項目⑬誠実な対応については、高い数値ではあるものの、児童の結果以外は1学期より低い結果となった。この結果を真摯に受け止めながら、今後もよりよい閉校・統合を迎えられるように誠実に対応していきたい。

(3)「家庭生活」について

〈成果〉

項目⑮家庭学習については、学校・保護者・児童の全ての数値が上がっている。目安の時間を意識したり、宿題（音読・漢字・算数）に加えて自主学習にも取り組んだりするようになってきている。

〈課題〉

項目⑮家庭学習については、児童への継続した指導とともに、今後は、我が子の頑張り具合を保護者が知ることができるような手立ても講じていきたい。

項目⑯生活習慣については、崎っ子元気カードの取組により改善してきた内容もあるが、早寝・早起きに関わりのあるメディア使用時間に大きな課題が残る。今後は、保健便りや各学級での啓発・指導に更に力を入れながら、保護者と協力して改善を図っていきたい。

(4)「職員」について

〈成果〉

1学期に引き続き、2つの項目ともに良好な結果であった。現状に満足せずに常に「今まで以上」を目指すという意識の高まりが、「悩みや喜びを分かち合う」「改善策を共に探る」「助言を実践に生かす」という職員の姿につながったと考える。

〈課題〉

残り期間、閉校に向けて、福岡のデジタル会社や千葉のアーティストと連携した取組、式典に向けた準備がある。統合に向けても、福江小学校と連携を更に密にしていく必要がある。大変ではあるが、職員一丸となって一つ一つの活動を推進していきたい。